



株式会社 トウエンティワン ヒガシ21
HIGASHI TWENTY ONE CO.,LTD.

株式会社ヒガシトウエンティワン (9029) 個人投資家向けIRセミナー



2023年9月8日

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

5

サステナビリティ

6

トピックス

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

5

サステナビリティ

6

トピックス

名称	株式会社ヒガシトゥエンティワン
本社所在地	〒540-0013 大阪府中央区久宝寺町3-1-9
設立	1944年12月20日
代表者	取締役 代表執行役社長 児島 一裕
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード:9029)
資本金	10億円
従業員数	連結: 1,394名(2023年3月31日現在)
グループ会社	8社



創業期(-1970年代)

- ・1944年 大阪市東区内の運送会社13社が統合し、大阪東運送株式会社設立
- ・1947年 日本生命保険相互会社が資本参加
- ・1968年 倉庫事業を開始
- ・1979年 東京営業所を開設し、首都圏へ進出



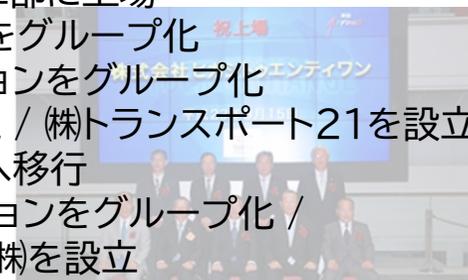
事業多角化(1980年-2000年代)

- ・1988年 ドキュメントサービスを開始
- ・1989年 産業廃棄物収集運搬業許可を取得
- ・1996年 ビル内デリバリー事業を開始
- ・2002年 ヒガシトゥエンティワンに社名変更
- ・2003年 福祉用具レンタル及び販売事業を開始
- ・2005年 ジャスダック証券取引所に株式を上場



総合物流企業へ(2010年代以降)

- ・2011年 東京証券取引所市場第二部に上場
- ・2016年 ユートランスシステム(株)をグループ化
- ・2017年 (株)イシカワコーポレーションをグループ化
- ・2018年 (株)FMサポート21を設立 / (株)トランスポート21を設立
- ・2019年 指名委員会等設置会社へ移行
- ・2020年 (株)ワールドコーポレーションをグループ化 / ヒガシオフィスサービス(株)を設立
- ・2022年 山神運輸工業(株)をグループ化 / (株)旅人をグループ化



特徴的な取組

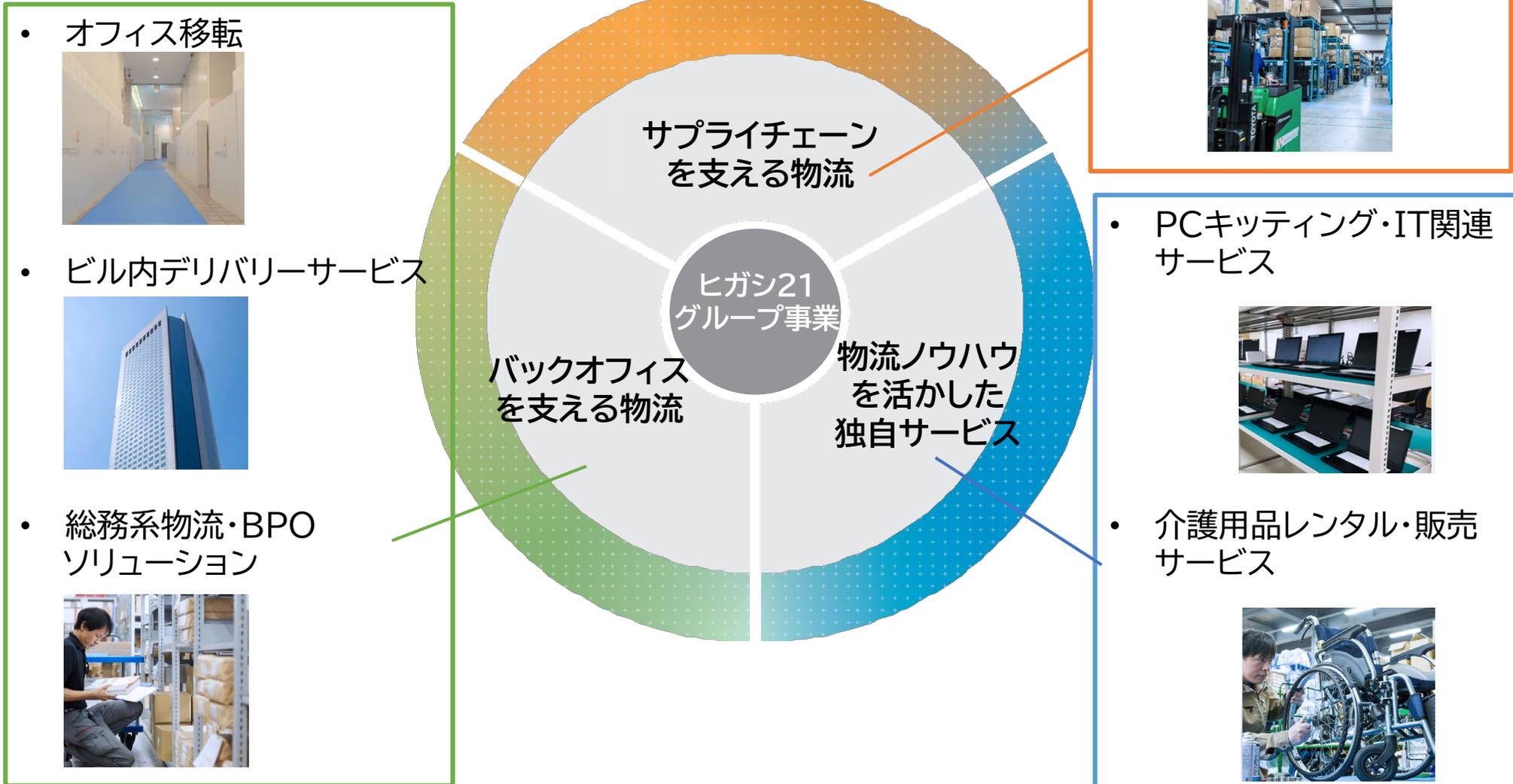
1968年に業界でいち早く”車両と荷物のマッチングサービス“(備車制度)を導入、協力会社を囲い込み

1996年に東京オペラシティビルにデリバリーセンターを開設、「館内物流事業」の先駆け

1986年にオフィス移転専門部署を設立
2020年に全国でも珍しいオフィス移転専門会社(ヒガシオフィスサービス(株))として分社化

2016年にインフラ会社向けとしては珍しい、資材の購入・配給数の管理・調整業務を、2021年からは電設資材の仕入れ・販売業務(商社機能)をスタート

輸配送を祖業としながら独自性・競争力のある多様な事業展開によって、幅広い収益ウィングを確保





運送及び倉庫事業全般、グループ管理・企画業務



U-TRANS SYSTEM

精密機器の運送及び
設置等



ISHIKAWA
CORPORATION

【物流】
保管、梱包、封入、
発送業務
【人材・ITサービス】
企業様向け受託業務



FM SUPPORT 21

ビル館内における総務
サービス業務



TRANSPORT21

運送事業に特化



WORLD
ワールド引越サービス

引越に関わる荷役及び
梱包等



オフィっこしなら
ヒガシオフィスサービス

事務所移転業務・引越に
関連するワンストップ
サービスの提供



YAMASHIN

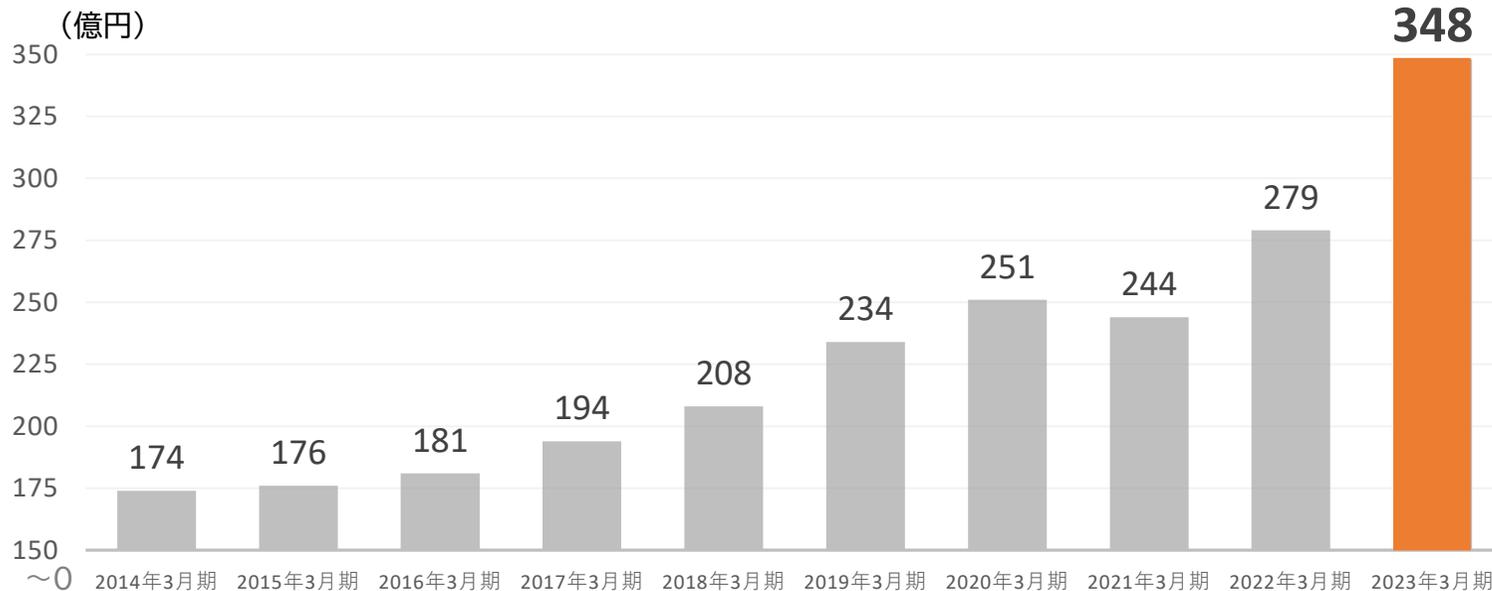
重量物配送・エンジニア
リング事業(機械据付・
メンテナンス等)



TABITO

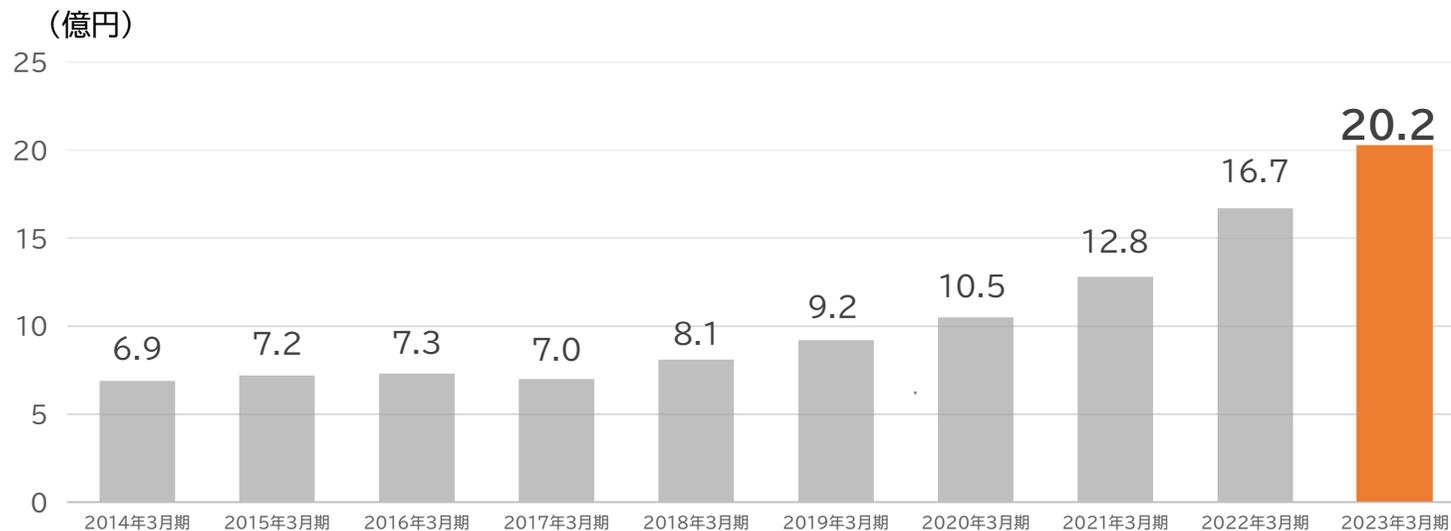
システムに関する技術
サポート全般

売上高



2014年3月期比
+100.0%

経常利益



2014年3月期比
+192.8%

グループパーパス

安心をずっと、驚きをもっと。
人と技術とITで、新たな価値を創造し、豊かな明日へつなぎます。

長期ビジョン(目指す姿・スローガン)

お客様に最高のサービスをお届けするために
変革し続ける企業

Evolution for Customers

——— 全進で未来へ “シンカ” ———

” シンカ ” → 新価 = 進化・深化・新化

長期ビジョン

グループVISION2030

経営基本理念

「安全」と「安心」を大切にして
物流事業を通じ社会に奉仕する
私達ヒガシ21

経営理念

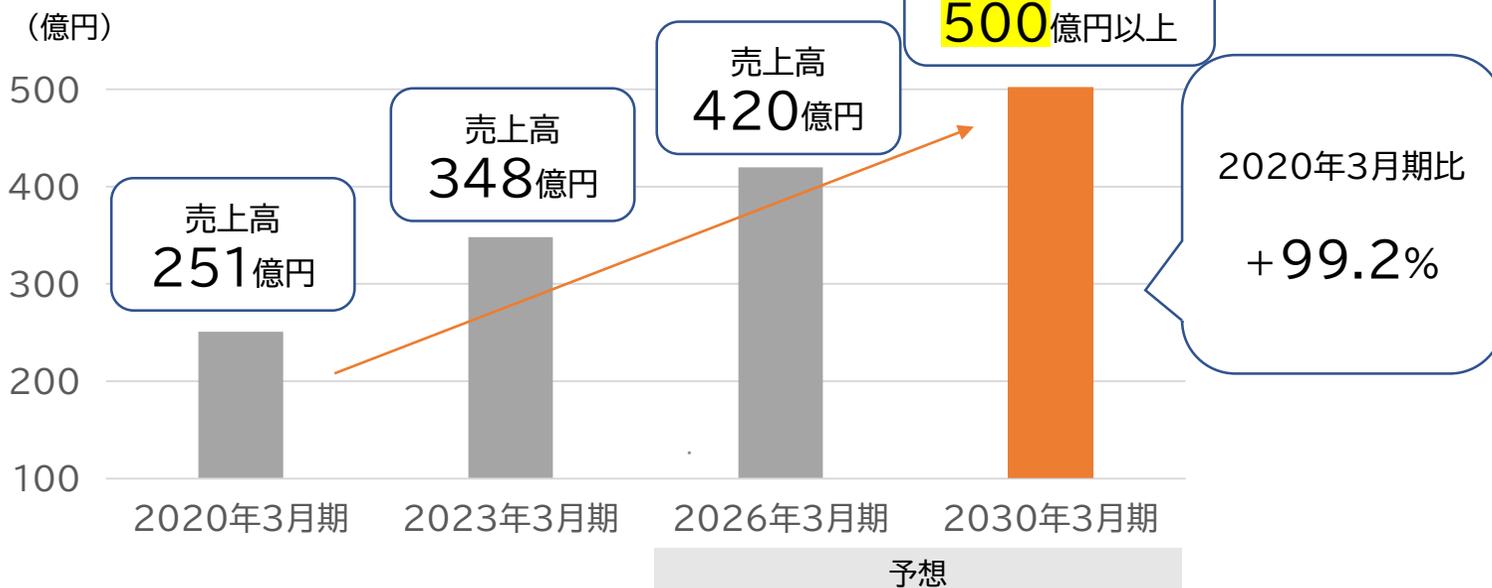
長期ビジョン(目指す姿・スローガン)

お客様に最高のサービスをお届けするために
変革し続ける企業

Evolution for Customers

—— 全進で未来へ “シンカ” ——

グループVISION2030 成長イメージ



①幅広い分野の大手優良顧客層を安定収益基盤としていること

日本生命グループ、関西電力グループ、毎日新聞グループは主要株主でもある

主要顧客上位の売上比率（2023年3月期）（単位：百万円）

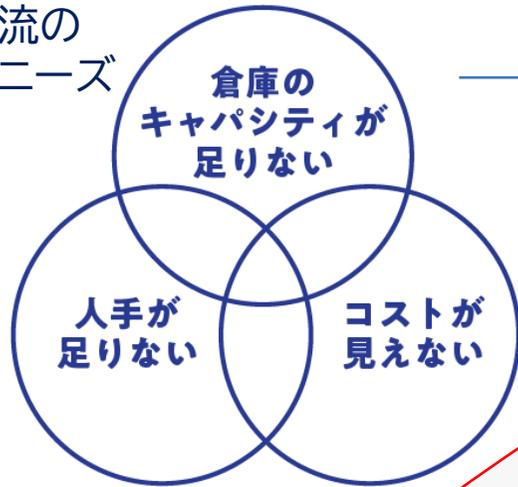
順位	顧客	売上高
1	関西電力グループ	5,035
2	日本生命グループ	4,903
3	大手e-コマース会社	2,135
4	大手鉄鋼メーカー	1,022
5	上場オフィス什器メーカー	763
6	毎日新聞社グループ	616
~~~~~		
上位10社売上占有率		47.9%

## ②個々の顧客ニーズに対応した物流設計能力

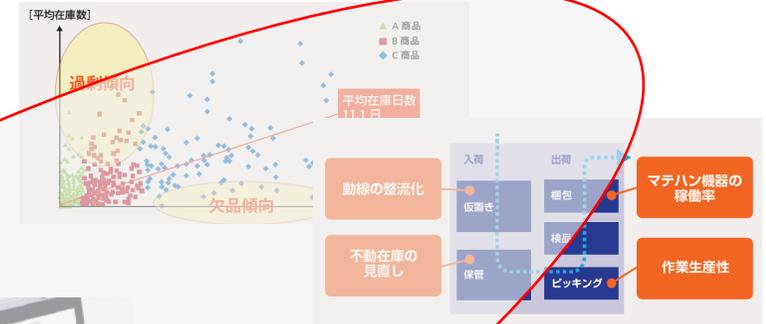
(※)複雑なモノの流れに対応した【人×倉庫×マテハン×車両×システム】を  
最適に組み合わせる能力を表現した、当社グループの造語

提案から立ち上げ、安定稼働までワンストップで最適なお提案が可能

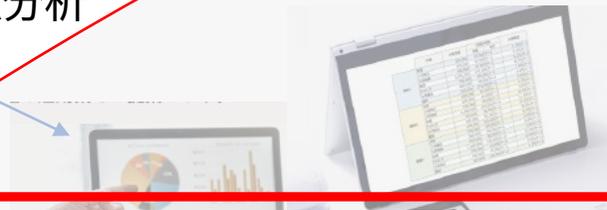
物流の  
3大ニーズ



在庫分析

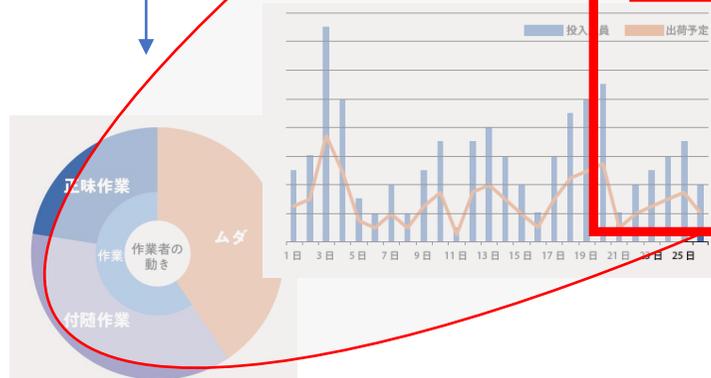


拠点分析



多様なソリューション  
提供

稼働分析



改善「提案力」

+

提案「実現力」



物流設計力

的確な現状分析

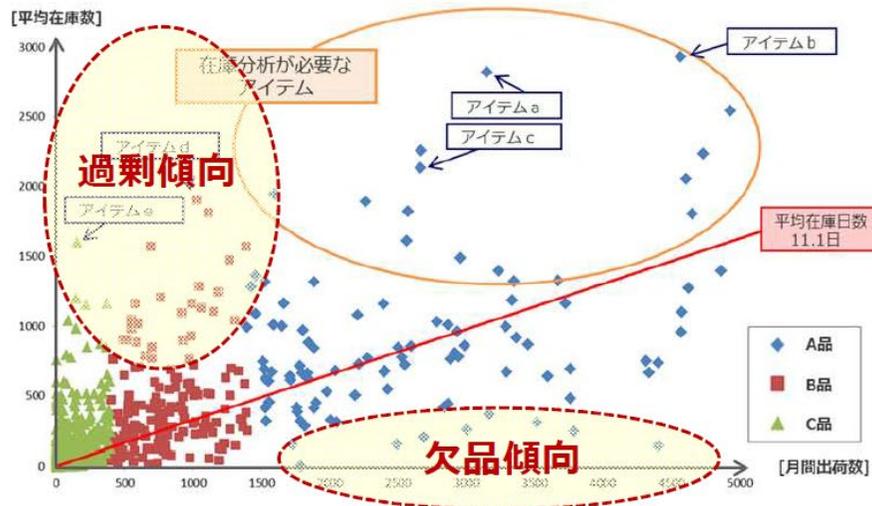
× 課題を解決するソリューション提供

- ・「在庫分析」「拠点分析」「稼働分析」を中心に課題を洗い出し
- ・分析結果をもとに改善提案・実施

## 在庫分析

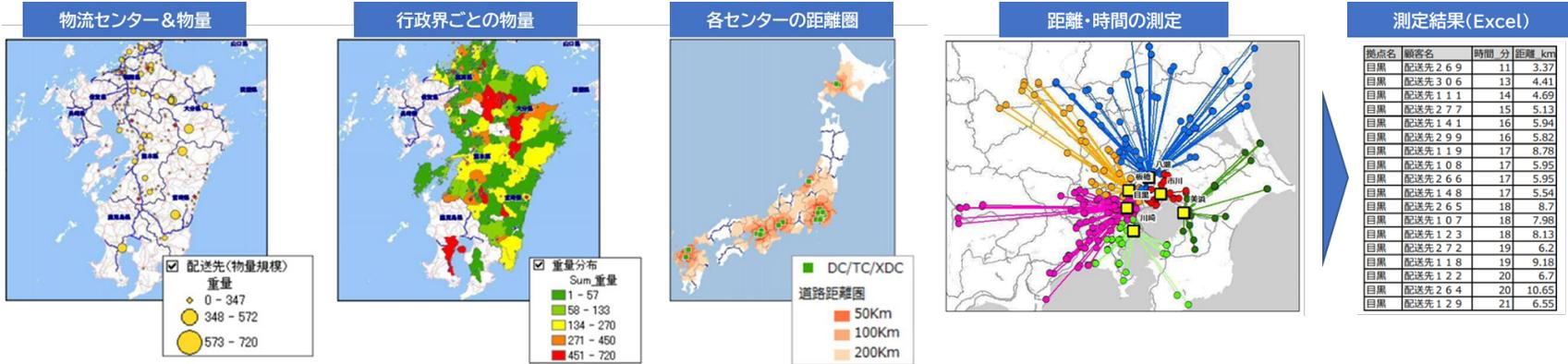
### 在庫傾向分析（マクロ分析）

全体で特異のあるアイテムを抽出する→その後個別に検証していく

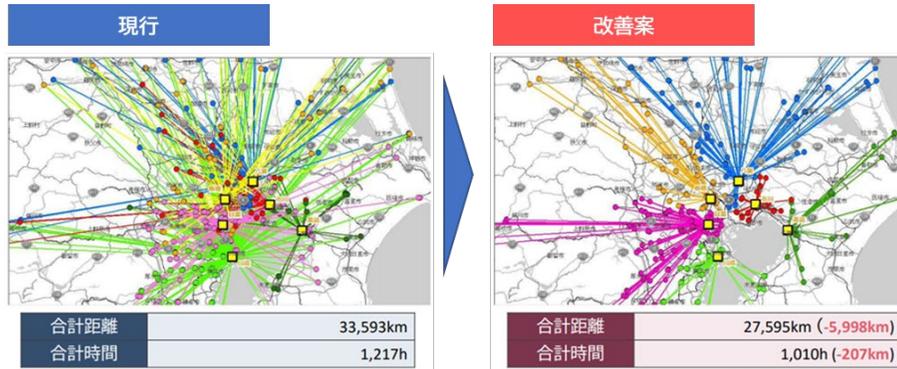


### 拠点分析

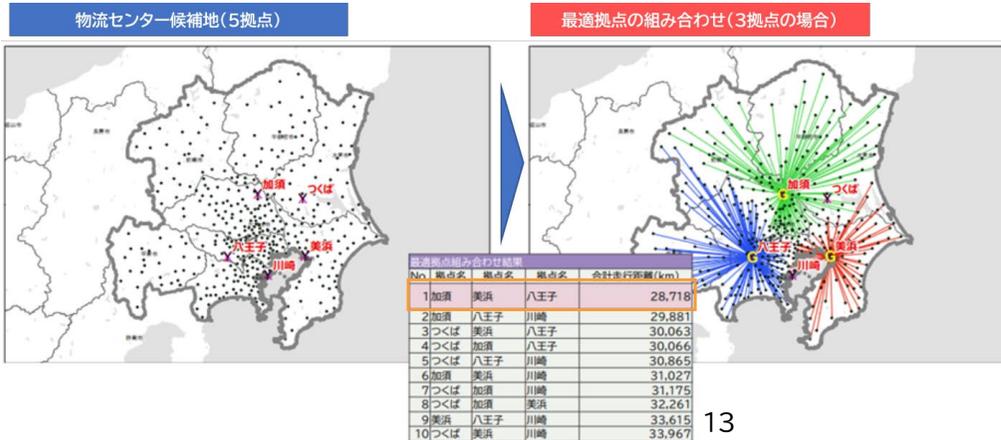
### 現状分析



### シミュレーション結果



管轄拠点	現行				改善後				改善差分				
	顧客数	合計距離(km)	合計時間(時間)	平均距離(km)	平均時間(分)	顧客数	合計距離(km)	合計時間(時間)	平均距離(km)	平均時間(分)	顧客数	合計距離(km)	合計時間(時間)
江東拠点	646	9,558	333	14.8	30.9	295	2,748	98	9.3	19.9	-351	-6,812	-235
野志野拠点	205	5,138	188	25.1	55.1	163	3,908	144	24.0	52.9	-42	-1,229	-45
増々浦拠点	56	1,370	50	24.5	53.4	60	1,596	58	26.6	57.7	4	226	8
春日部拠点	77	1,431	51	18.6	39.5	116	2,042	73	17.6	37.6	39	611	22
川口拠点	78	968	37	12.4	28.3	222	2,467	92	11.1	24.7	144	1,499	55
所沢拠点	303	7,618	269	25.1	53.3	177	3,952	141	22.3	47.7	-126	-3,667	-129
川崎拠点	95	909	34	9.6	21.5	419	4,692	170	11.2	24.4	324	3,783	136
相模原拠点	87	1,102	42	12.7	28.7	176	2,453	90	13.9	30.7	89	1,351	48
■野中野拠点	72	1,532	53	21.3	44.1	66	1,236	43	18.7	39.1	-6	-296	-10
横浜拠点	242	3,987	161	16.4	39.9	167	2,502	103	15.0	37.0	-75	-1,485	-58
計	1,861	33,593	1,217	18.1	39.5	1,861	27,595	1,010	17.0	37.2	0	-5,998	-207



## 稼働分析

### ■ 正味作業とそうでない作業の区別

#### 正味作業(付加価値を高める作業)

※これ以外は全て原価を高める要素

(例)入荷:トラックから荷卸し

出荷:トラックに積込む、仕分ける、ピッキング、梱包

#### 付随作業(付加価値の無い作業)

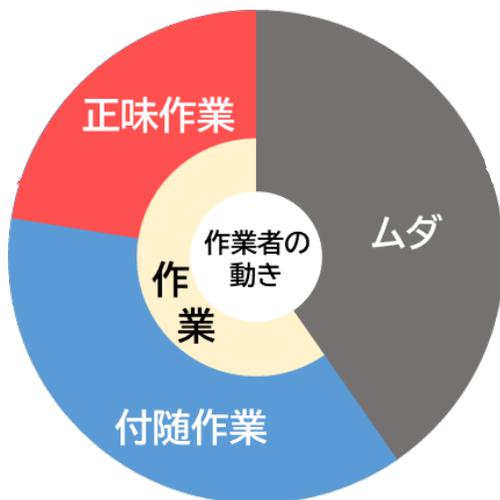
※付加価値は高めないが、今の作業条件の下では、やらなければならないもの

(例)梱包を解く、搬送、仮置き、空パレットを取りに行く

#### ムダ

※作業をしていく上で何ら必要でないもの。  
よってすぐ省けるもの

例)手持ち  
意味の無い搬送  
運搬の二度手間  
持ち替え  
、、、など



### ■ 作業の分類

#### ✓ 稼げる働き

正味作業(付加価値作業)

主体作業

#### ✓ 稼げない働き

コストアップ作業

付帯作業

余裕

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

5

サステナビリティ

6

トピックス

①経営目標数値

3年累計営業CF以外、全ての経営目標数値を達成

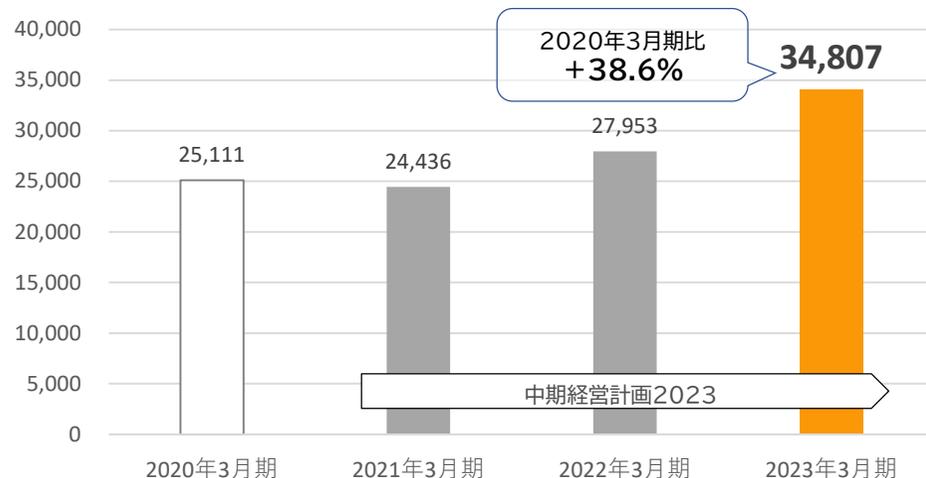
	2020年3月期 (実績)	中期経営計画 2023(当初)	中期経営計画 2023(上方修正後) ※1	2023年3月期	達成 状況
売上高	251億円	300億円	330億円	348億円	◎
重点事業領域 売上比率 ※2	30%	45%	56.9%	59.7%	◎
3年累計 営業CF	31億円	36億円	36億円	26億円 ※3	△
ROE	8.5%	6%以上	6%以上	12.2%	◎
配当性向	33.6%	30.0%以上	30.0%以上	31.0%	◎
従業員数	942名	1,100名	1,150名	1,394名	◎

- ※1 2020年7月29日中期経営計画2023を発表、2022年5月11日中期目標数値を上方修正、2022年10月28日に売上高について再度上方修正
- ※2 前中期計画の中で事業成長を牽引する事業と位置付けたオフィスサービス事業、3PL事業、ビルデリバリー事業、M&Aで取得した会社の事業の売上がグループ全体売り上げに占める割合
- ※3 業容拡大に伴う売上債権の増加、関電資材調達3PL事業を開始したことに伴う棚卸資産の増加、23/3期に大型3PLセンター開設に伴う立替金が発生したこと等で、一時的に営業CFが低下し、26億円となる。なお、売上債権・棚卸資産・立替金のいずれも短期的にキャッシュの回収が進むため、次期中期に向けた投資資金に問題はありません。

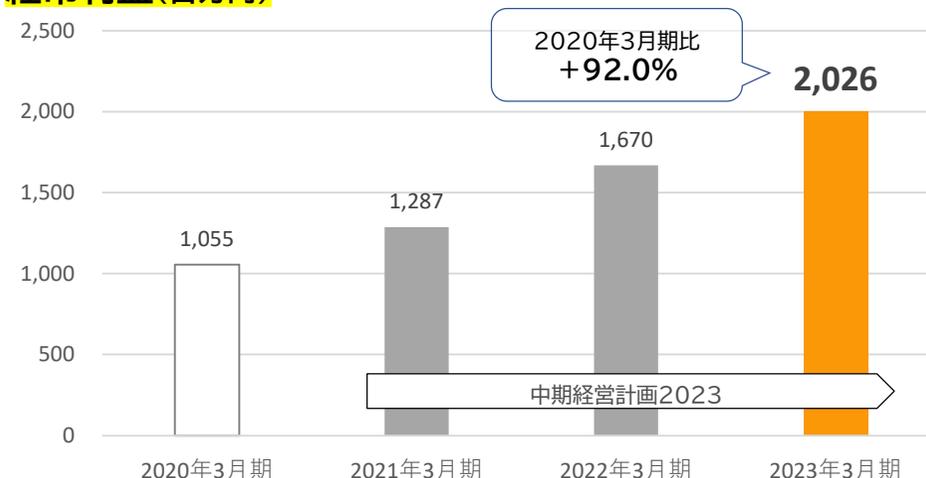
## ②中期経営計画期間の主要業績推移(連結)

2022年3月期、2023年3月期の2期連続で  
売上高・経常利益ともに過去最高を更新

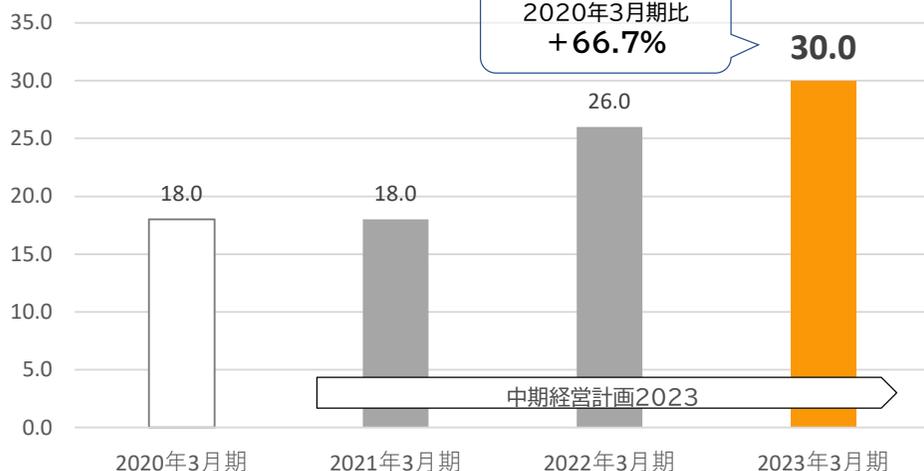
売上高(百万円)



経常利益(百万円)



1株当たり配当金(円)



### 参考:株価推移(年足)

	始値	高値	安値	終値	前年比	前年比(%)
2023/3/31迄		725	984	716	954	+236 +32.9
年	始値	高値	安値	終値	前年比	前年比(%)
2022		660	732	571	718	+78 +12.2
2021		555	825	544	640	+82 +14.7
2020		515	703	408	558	+41 +7.9
2019		405	528	402	517	+89 +20.8

事業をめぐる  
環境認識

労働力人口減少  
特にドライバー不足

物価高・燃料価格高騰  
人件費の上昇

気候変動問題等、  
サステナビリティに関する  
事項への責任ある対応

デジタル活用進展に  
よる生活の変化  
(ECビジネスの拡大等)

複雑化する事業環境のなか、物流事業者への期待・社会的責任は一層高まりを見せる

## 今次中計のテーマ:成長の礎を糧に飛躍する3年

物流事業者として「物流の安定供給への貢献」「責任ある企業経営の実践」に向け、前中計での成果を礎に更なる取組を進める

当社の社会的な存在意義・価値を一人ひとりが認識し、志高く業務に取り組んでいくべく、今般「グループパーパス」を制定

### グループパーパス

安心をずっと、驚きをもっと。人と技術とITで、新たな価値を創造し、豊かな明日へつなぎます。

テーマ:成長の礎を糧に飛躍する3年

## 中期経営計画2026(2024年3月期～2026年3月期)

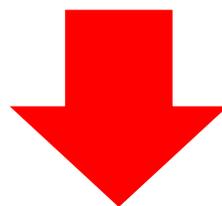
◆主要取組◆

サービス提供価値の向上  
(前中期で獲得した経営資源の利活用)

ITサービス事業の更なる強化

サステナビリティ経営の進展

株主還元



2026年3月期(当中期目標)  
売上高 420億円

## 長期経営ビジョン2030(2021/03～2030/03期)

2030年までに目指す姿「お客様へ最高のサービスをお届けするために変革し続ける企業」の実現に向け  
【定量目標】①売上高 500億円以上 ②従業員数1,850名 を掲げる

## 経営目標数値

	2023年3月期 (実績)	中期経営計画2026 (2026年3月期)	趣旨
売上高	348億円	420億円	(詳細は「中期経営計画2026」リリースの事業領域別取組に 事業別の売上成長戦略・目標値を記載)
経常利益	20.2億円	25億円	陸運業の経常利益の中央値5.1%(2022年3月期)を超える 経常利益率6%の確保(付加価値の高い物流サービスの提供)
1株当たり 配当金	30円00銭	36円00銭	下記、配当性向に準拠し、増配を基本方針とする
ROE	12.2%	8%以上	事業拡大に伴う投資費用の影響で、ROEの引下圧力はあるが、 グループ全体として陸運業のROE中央値(7.5%)以上を確保
配当性向	31.0%	30%以上	株主様への還元、継続的な事業規模拡大のための投資、 財務基盤の強化のバランスを勘案した配当性向
従業員数	1,394名	1,600名	移転事業拡大に伴う現場管理者の増員、 3PL事業拡大に伴う倉庫管理者の増員、物流現場力の基礎となる ドライバー、倉庫作業員の確保を中心とした増員

中期経営計画2026では、下記区分で事業を大括り化し、各事業領域で成長を目指す

## オフィスサービス

(個人引越含む)

- オフィス移転(数千名~5名程度の小規模まで)、オフィスフロアのレイアウト変更
- 移転に伴う不要什器や備品の買取・廃棄
- 企業の一斉赴任引越・個人引越

## 3PL

- インフラ会社向け資材購入、保管、資材加工、配送
- 大手EC向け入荷、保管、出荷、配送
- 大手工作機械メーカー向け入荷、保管、出荷、配送
- 上記の他、物流業務を包括的に受注する高度の物流サービス

## ITサービス

- IT機器(PC・サーバー・業務用スマホ)のキitting、現地セッティング、保守・メンテ、データ消去→廃棄までのワンストップサービス
- POS端末等のシステム機器の設置・保守・ヘルプデスク対応やITエンジニアの人材派遣など、システムに関する技術サポート全般

## ビルデリバリー

- 館内物流
- メール室業務(業務代行/メール室への人材派遣)
- ビル内テナント様向け総務代行業務(備品購入代行や印刷物の封入・封緘・発送代行等)

## 介護サービス

- 介護支援事業者様向け福祉用具レンタル及び販売事業
- 商品配送・現地組立て・自社専用消毒メンテナンス施設での保守修理から不用品の引取りなどのワンストップサービス

## 基幹

※ 3PL事業領域を除く輸配送等関係業務

- 輸配送業務、倉庫保管
- 物流加工(袋詰め、検品、組立など物流過程で発生する加工業務)
- 産業廃棄物管理(PCB等の特別産業廃棄物の取扱いも可能)
- 機密書類保管、機密書類溶解、社内文書物流(総務系物流)

# 全領域で事業成長

## 基幹事業



## オフィスサービス事業



## 介護サービス事業



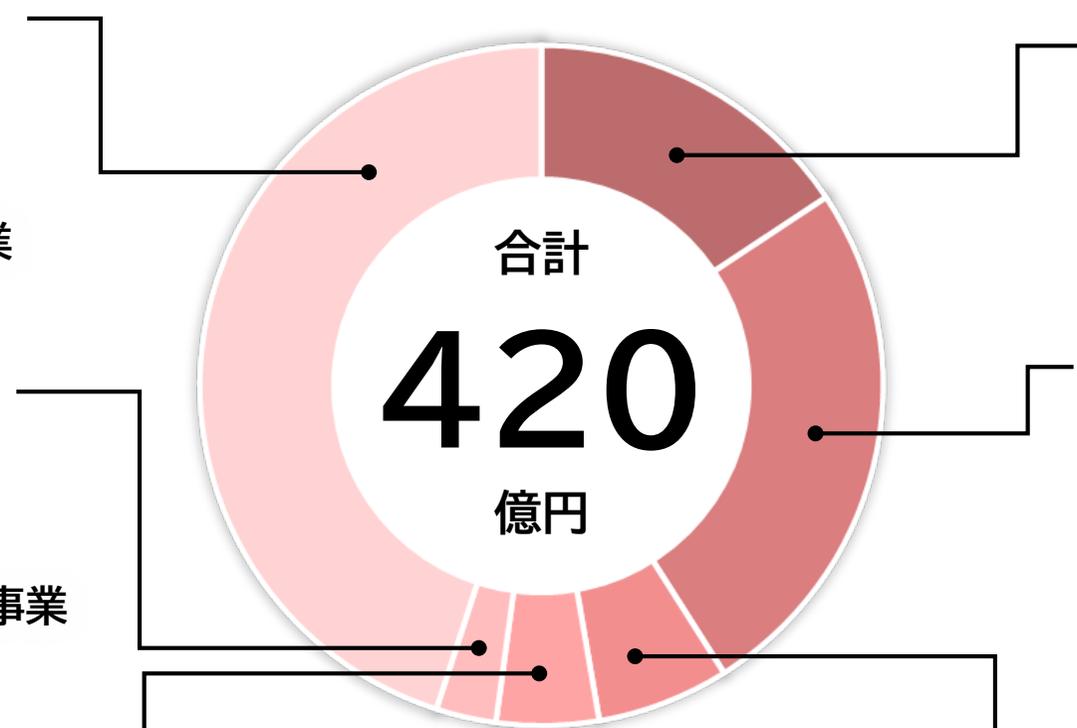
## 3PL事業



## ビルデリバリー事業



## ITサービス事業



1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

5

サステナビリティ

6

トピックス

## 2024年3月期 第1四半期は「売上高・経常利益」共に過去最高を更新

(百万円)

		2024年3月期第1四半期					
		実績				2023年3月期第1四半期との差	
		実績	全体に占める割合(%)	上期予想	上期予想に対する進捗率	増減額	増減率
売上高	9,832	--	17,800	55.2%	1,778	22.1%	
売上総利益	1,974	20.1%	--	--	303	18.2%	
販売費および一般管理費	1,386	14.1%	--	--	185	15.4%	
営業利益	588	6.0%	850	69.2%	118	25.2%	
経常利益	635	6.5%	900	70.6%	130	25.8%	
特別利益	0	0.0%	--	--	0	--	
特別損失	0	0.0%	--	--	0	--	
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	370	3.8%	550	67.4%	49	15.3%	

## 売上高

- **大型3PLセンター(北大阪LC,流山LC・流山ⅡLC,鳴尾浜LC)の開設** ※トピックスにてご紹介
- オフィス移転事業の拡大や、2022年10月より(株)旅人の連結開始
- その他、大手コンビニよりデジタルサイネージ(広告用ディスプレイ)のキッティング業務の受注や、メール室業務の拡大、(株)山神運輸工業での工事事業の受注増加、インフラ会社向け資材販売業務の拡大

## 経常利益

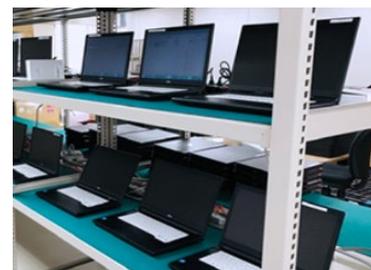
- 大型3PLセンター開設に伴う備品・什器・倉庫消耗品の購入等の投資費用や、成長事業への人材投資が発生しているものの**業容拡大、継続的な収支構造改善による損益分岐点の引き下げにより、増益を達成**



オフィス移転事業



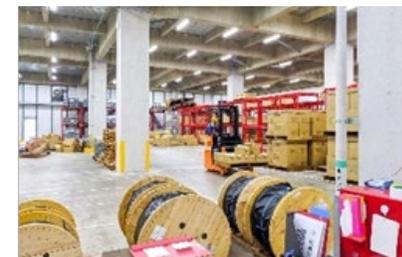
旅人のテクニカルサポート事業



キッティング業務



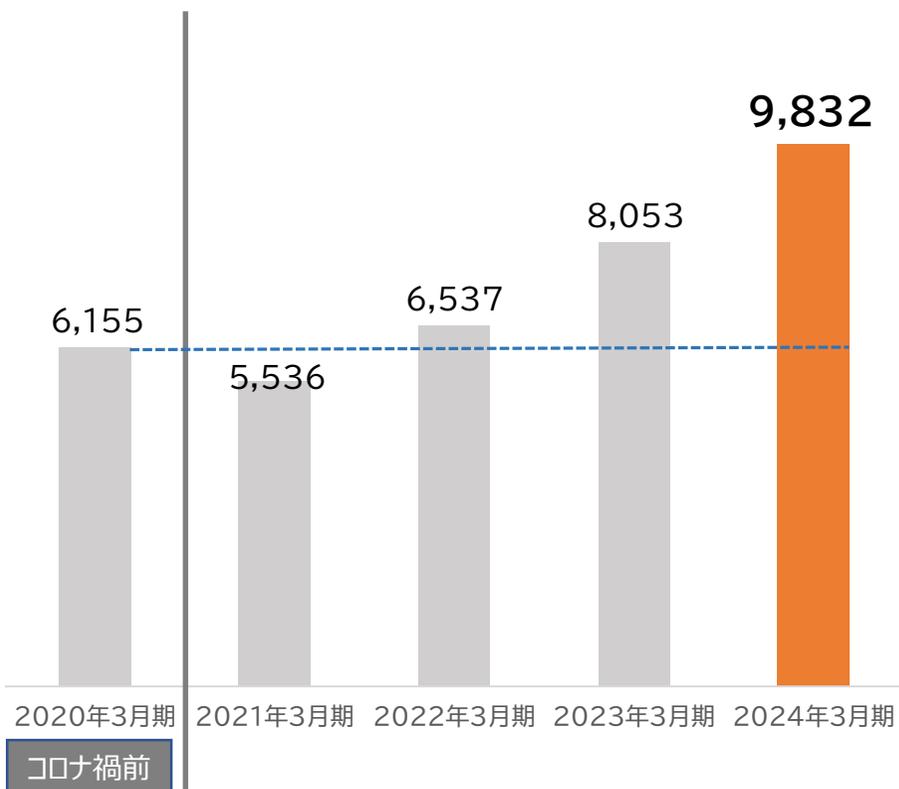
資材販売業務



- 業容拡大、収支構造改善による損益分岐点の引き下げにより、2022年3月期以降は売上高・経常利益ともにコロナ禍前水準を上回り、成長基調を確保

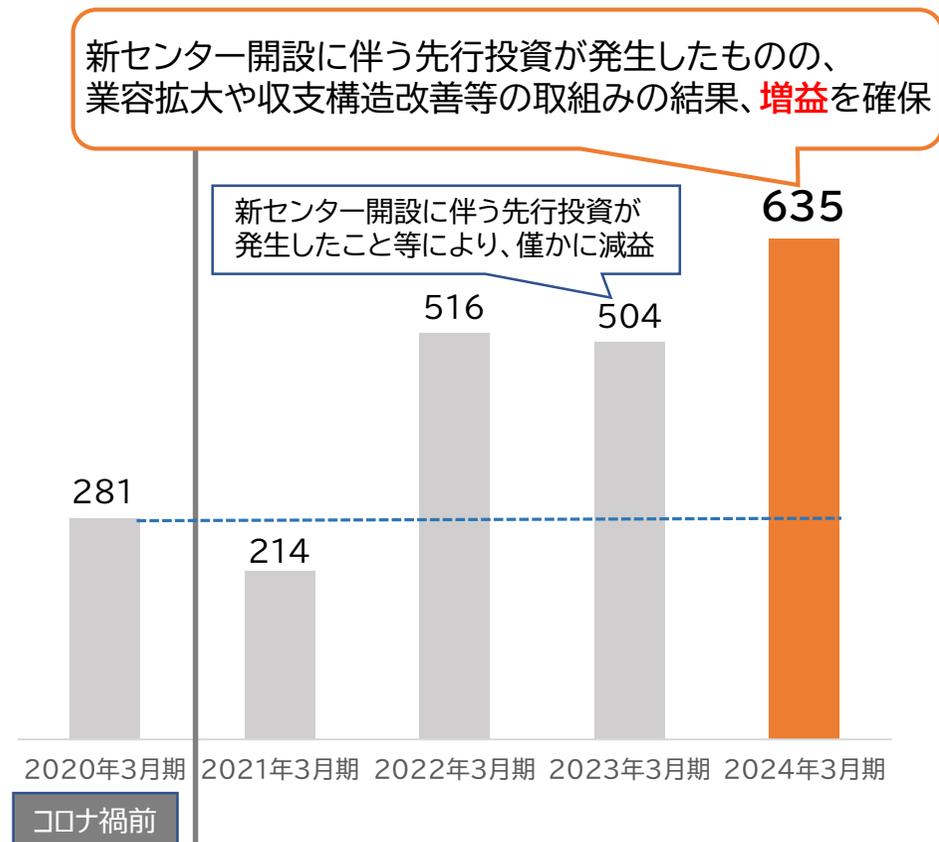
## 売上高（第1四半期）

(百万円)



## 経常利益（第1四半期）

(百万円)



- オフィスサービス事業 ⇒関西圏・関東圏での業容拡大の進展等により、増収
- 3PL事業 ⇒大型3PLセンター(北大阪LC、流山LC、鳴尾浜LC)開設等により、増収
- ITサービス事業 ⇒キitting業務の大型案件受注や、(株)旅人を連結開始したこと等により、増収
- ビルデリバリー事業 ⇒メール室業務の新規受託や、既存ビルデリバリー拠点に入居するテナント企業との取引増加等により、増収
- 基幹事業 ⇒大口得意先によるカタログ発送業務の受注や、全体的な取扱物量の回復等により、増収

(百万円)

	2023年3月期		2024年3月期			
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	8,053	--	9,832	--	1,778	22.1%
オフィスサービス事業	1,281	15.9%	1,471	15.0%	189	14.8%
3PL事業	1,834	22.8%	2,527	25.7%	693	37.8%
ITサービス事業	351	4.4%	822	8.4%	470	134.0%
ビルデリバリー事業	437	5.4%	492	5.0%	55	12.7%
介護サービス事業	239	3.0%	254	2.6%	15	6.3%
基幹事業	3,909	48.5%	4,263	43.4%	354	9.1%

売上高・経常利益共に過去最高を見込む

- 売上高は、大型3PLセンター(北大阪LC、流山LC・流山ⅡLC、鳴尾浜LC)の開設、および株旅人の連結期間が通年化する結果、増収の見込み
- 経常利益は、上記の増収や既存事業における利益率改善を進めることで、大型3PLセンターや人材への投資費用等の支出が予定されているものの、増益の見込み

(百万円)

	2023年3月期		2024年3月期				第1四半期進捗率			
	実績		予想				比較			
	実績	全体に占める割合(%)	通期予想	全体に占める割合(%)	増減額	増減率	2023年3月期1Q実績	2023年3月期実績に対する1Q進捗率	2024年3月期1Q実績	2024年3月期通期予想に対する1Q進捗率
売上高	34,807	--	36,000	--	1,192	3.4%	8,053	23.1%	9,832	27.3%
営業利益	1,908	5.5%	2,000	5.6%	91	4.8%	469	24.6%	588	29.4%
経常利益	2,026	5.8%	2,100	5.8%	73	3.6%	504	24.9%	635	30.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,268	3.6%	1,320	3.7%	51	4.1%	321	25.3%	370	28.0%
1株当たりの当期純利益(円)	96.82	—	100	—	—	—	—	—	—	—

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

**株主還元**

5

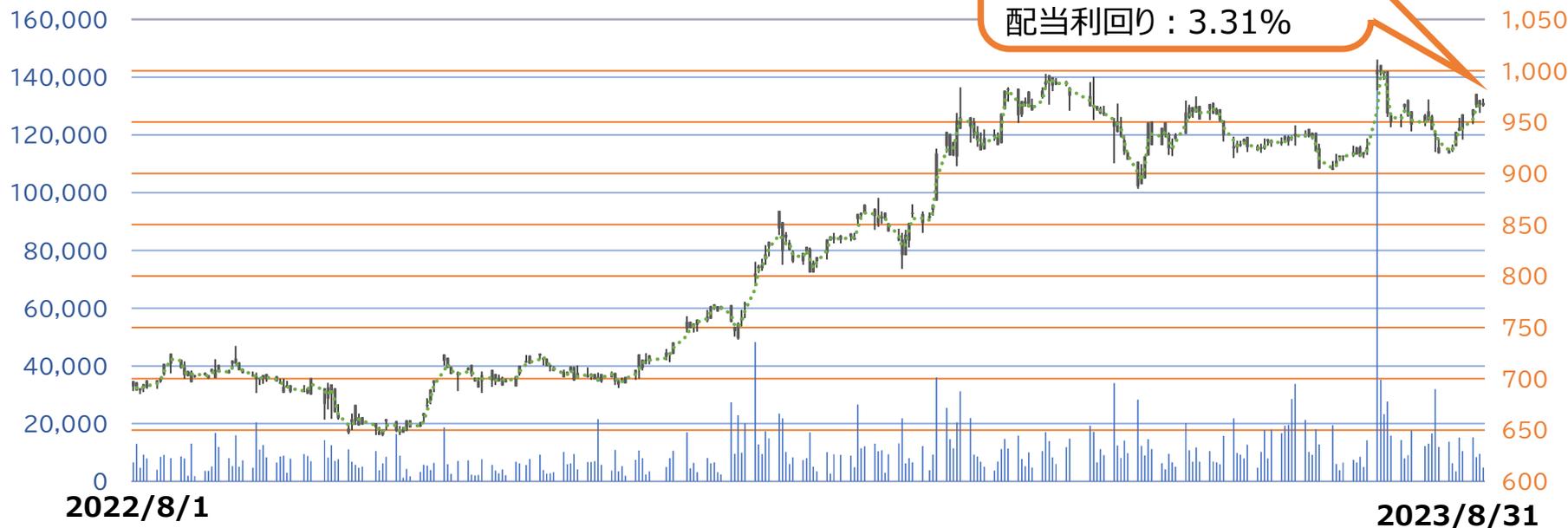
サステナビリティ

6

トピックス

## 株価推移(2022/8/1-2023/8/31)

出来高



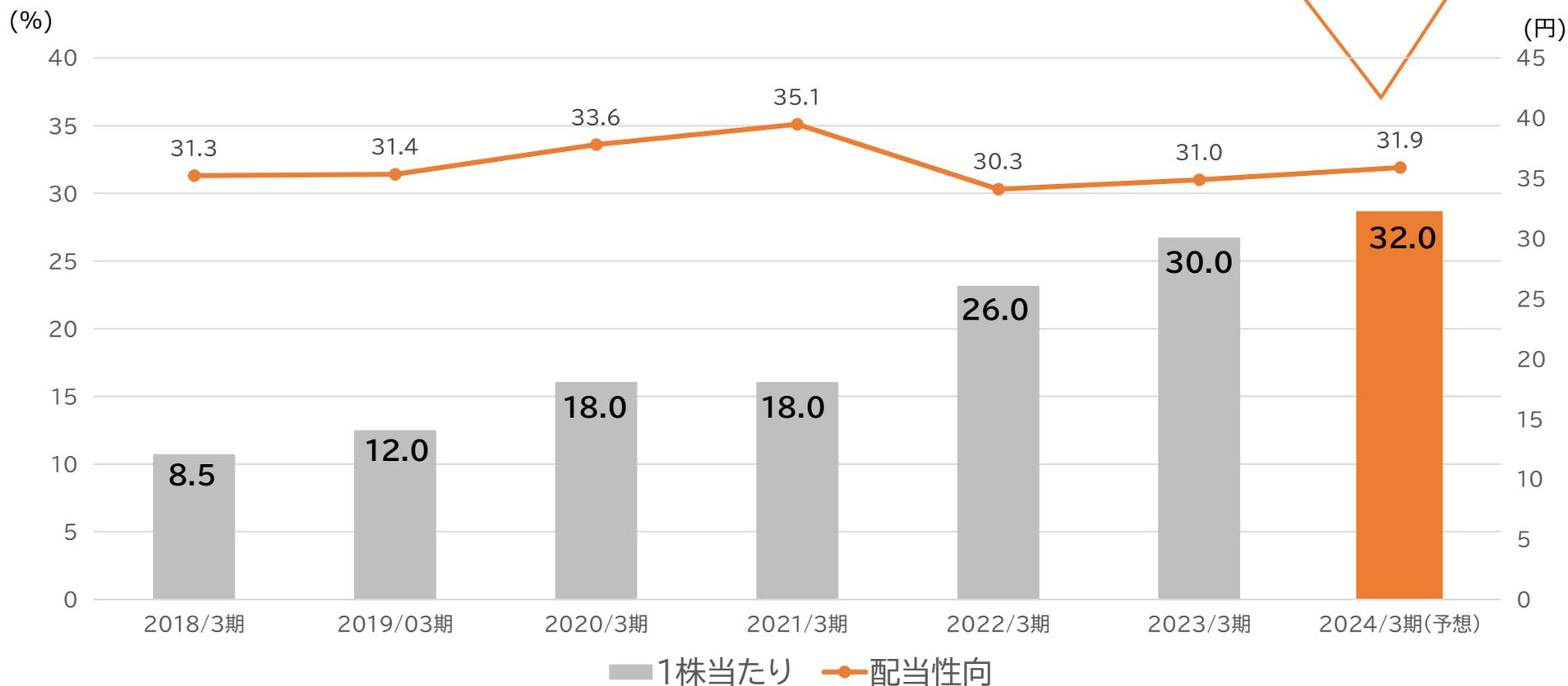
## 時系列株価 (年足)

	始値	高値	安値	終値	前年比	前年比(%)
2023/8/31迄		725	1,011	716	968	+250 +34.8
年	始値	高値	安値	終値	前年比	前年比(%)
2022		660	732	571	718	+78 +12.2
2021		555	825	544	640	+82 +14.7
2020		515	703	408	558	+41 +7.9
2019		405	528	402	517	+89 +20.8

当社は株主の皆様への利益還元を重要課題の一つと認識しており、連結配当性向30%以上を目安に、安定的かつ継続的な配当を実施していく方針です。

## 1株当たり配当金・配当性向の推移

2024年3月期は、前回より2円積み増し「1株当たり32円の配当」を予定



## 制度内容

実施回数	毎年1回
基準日	毎年9月末日
優待内容	<p>①500株以上1,000株未満保有の株主 ⇒ 1,000円相当のクオカード</p> <p>②1,000株以上2,000株未満保有の株主様 ⇒ 2,000円相当のクオカード</p> <p>③2,000株以上保有の株主様 ⇒ 4,000円相当のクオカード</p>
長期保有特典	500株以上を1年以上継続保有の株主様 ⇒ 1,000円相当のクオカード

1,000株保有時の計算例（2024年3月期実績 / 予想通りの配当 32円の場合）

（■投資金額（時価） 968円×1,000株 = 968,000円）

■受取配当金	32円×1,000株 = 32,000円
■受取株主優待	2,000円
■長期保有特典	1,000円（1年以上保有の場合）
	合計 35,000円

【前提条件】

配当日は2024年6月：32円予想/株

株価は2023年8月31日基準：968円/株

**株主優待込みの利回り：35,000円÷968,000円×100 = 3.62%**

**（優待を除く配当利回りは3.31%）**

ご参考：株式平均利回り（2023年8月末時点）※東京証券取引所公表資料

プライム市場の株式平均利回り 2.26% / スタンダード市場の株式平均利回り 2.40%

1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

5

**サステナビリティ**

6

トピックス

## サステナビリティ経営の強化

- 2021年12月策定のサステナビリティ基本方針に基づき、各種取組を進めている。
- 2023年4月にはサステナビリティ経営の検討と推進を一元的に集約・強化する機能として、社長を委員長とする「サステナビリティ推進委員会」を設置。

### サステナビリティ基本方針

1. 健全で開かれた企業経営の実現
2. 働きがいのある職場環境作り
3. 人権の尊重
4. 地球環境に配慮した企業活動の実践
5. 法令・コンプライアンスの遵守
6. 社会への貢献

### ESG主要取組

- E**
- ◆ GHG(温室効果ガス)排出量削減
- 
- S**
- ◆ 人的資本価値向上に向けた取組
  - ◆ 輸送に関する安全目標達成への取組
  - ◆ ひまわりプロジェクトを通じた協賛・支援活動(子どもを支援する取組)
- 
- G**
- ◆ 取締役会・委員会における独立性・多様性の確保
  - ◆ サステナビリティ経営の強化

## 環境に関する取組(E)

### 低公害車導入推進

- 導入推進と意識啓発に向け、低公害車車両にステッカーを貼付し、運行
- 低公害車トラック10%以上導入目標を設定(2023年3月期)

### エコドライブの推進

デジタルタコメーターの有効活用によるアイドリング時間の軽減

### CO2削減電力プランの導入

多久ロジネットセンターでグリーン電力使用による実質CO2排出ゼロを実現  
(対2021年度比▲111トン)

- ・ 低公害車推進プロジェクト (車体貼付用ステッカー)



- ・ 多久ロジネットセンター外観



## 人的資本価値向上への取組(S)

- ◆ 労働人口減少に伴い人材不足が懸念されるなか、中期経営計画2026達成に向けて採用戦略・労働環境整備等を通じた人材確保、既存人材のスキルアップによる生産性向上に取組む。

### 人材育成(教育)

【研修プログラム(見直し)】

<p><b>匠塾(※)の内容強化</b> ※物流スキル向上に向けた社内研修</p>	<p><b>管理職育成研修強化</b> (管理職候補層へも受講範囲拡大)</p>
<p><b>女性活躍推進フォロー強化</b> (特別プログラム受講者への継続フォロー)</p>	<p><b>フォローアップ研修の新設</b> (中途採用含む入社3年後の従業員)</p>

### 人材確保(採用)

【グループ在籍計画と総合職採用(単体)】

	中期経営計画2026			
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
従業員数計画 (翌4月1日時点)	1,394名	(1,440名)	(1,530名)	<b>1,600名</b>
新卒採用計画 (第2新卒含)	20名	20名	<b>25名</b>	<b>25名</b>

### 労働環境整備

#### 主要取組

- ・「働きやすい職場認証制度(国交省)」の二つ星獲得
- ・女性管理職登用の推進(2025年度末10%以上)
- ・男性育児休業取得率向上への取組(毎年度50%以上)
- ・有給休暇取得率向上への取組み(毎年度60%以上)
- ・所定外労働時間圧縮への取組み  
(ドライバーの2024年度問題含む 総合職等は月間20時間以内)
- ・新卒新入社員向けアドバイザープログラムの継続実施
- ・エンゲージメント調査開始



## 安全に関する取組(S)

- ◆ ヒガシ21グループは、「輸送の安全に関する基本的な方針」に基づき、物流事業者として輸送の安全を確保するために「輸送の安全に関する目標」を設定し、安全を徹底する事業活動に取り組む。

### 輸送の安全に関する主要目標

項目	年度達成目標
ヒガシトゥエンティワングループ全体の車両事故率評価	AAA(トリプル A:事故率 2%以内)※
重大事故 (自動車事故報告規則第 2 条に規定する事故)	0件
飲酒運転・過積載違反	0件

※ 車両事故率評価 AAA とは、年間事故件数を全ての所有車両数(事業用・自家用・フォークリフト)で割り パーセント表示したものが 2%以内となる最高の評価。(参考)AA⇒5%以内、A⇒8%以内、B⇒15%以内

### 安全啓発に向けた各取組

安全会議/安全対策委員会/事故審査委員会/事故者面談/安全パトロール/安全衛生大会・協力会社セミナー/  
無事故無違反表彰実施/事故防止強化月間(事故運動)/こどもミュージアムプロジェクト

社会貢献活動(S)



ヒガシ21グループでは、太陽のようにあたたかく、ひまわりのようにやさしい気持ちで子どもたちの未来を応援したいという思いを『ひまわりプロジェクト』と名付け、子どもを軸とした取組みを継続展開している。

交通安全啓発



こどもミュージアムプロジェクト・フェスタへの参画(2019年～)



交通安全絵画コンテストの開催(2019年～)



園児向け交通安全教室の開催(2019年～)

協賛・支援活動



ヒーローズカップ(全国小学生ラグビー大会)への協賛(2017年～)



NPO法人ライツオン・チルドレンへのPC寄付(2019年～)



「こころの劇場」(劇団四季)への協賛(2023年～)

## コーポレート・ガバナンス強化の取組み（G）

### 開かれた経営への取組

#### - 2019年指名委員会等設置会社へ移行

##### 取締役会

- ▶ 執行役及び取締役の監督
- ▶ 経営基本方針決定

##### 報酬委員会

- ▶ 中長期的な業績向上につながる役員報酬の検討を通じて、役員報酬の客観性・妥当性を確保

##### 指名委員会

- ▶ 取締役候補の選定プロセスの客観性・妥当性を確保

##### 監査委員会

- ▶ 独立的立場から会社の業務執行が公正妥当か否かを監督

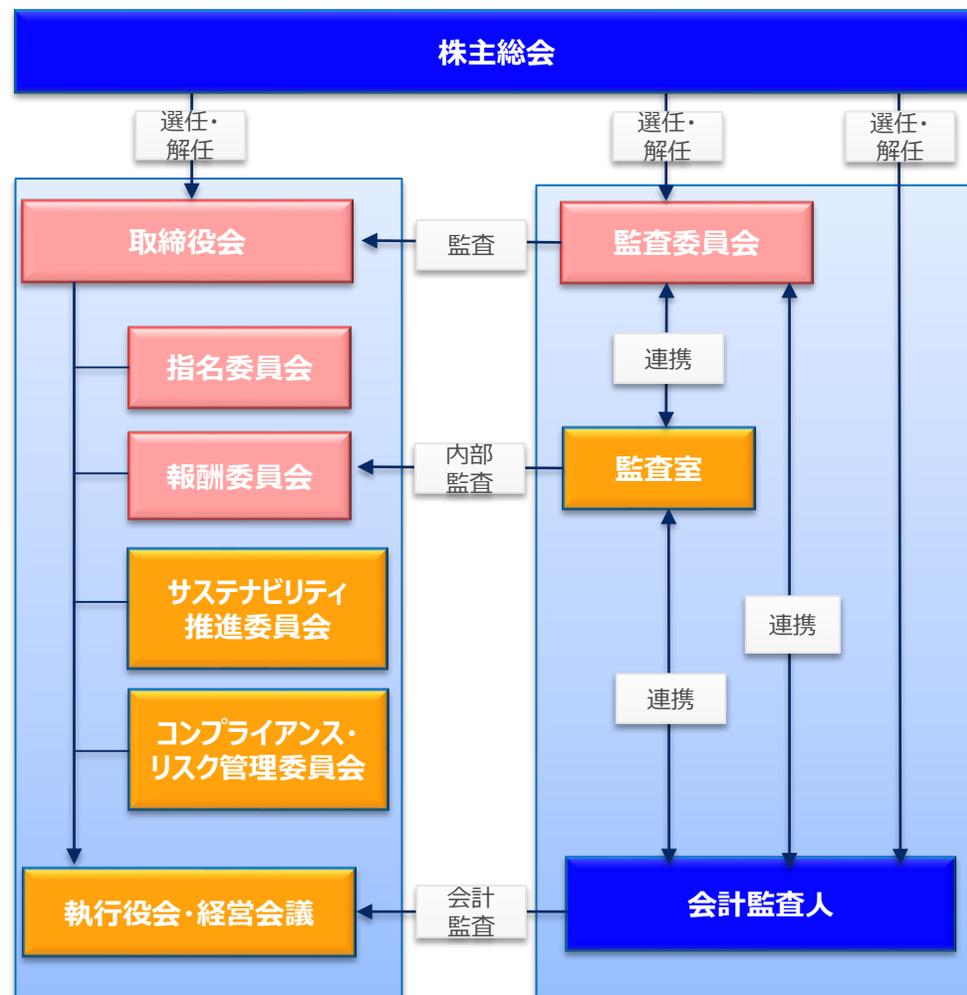
- ・ 上記の会議体全てで社外取締役過半数を確保
- ・ 取締役会は10名（男性8名、女性2名）で構成

#### ※ 指名委員会設置等会社の割合は

プライム4.0%/スタンダード0.8%に留まる

（2023.04.30時点）

### ・ガバナンス体制図



1

会社紹介

2

成長戦略

3

決算概要

4

株主還元

5

サステナビリティ

6

トピックス

新規のEC向け3PL業務受託開始に伴い  
『3センター・4拠点』を新規開設

## ▶ 北大阪 L C

- ⇒ 主要高速道路へスムーズなアクセス可能な好立地
- ⇒ 高い倉庫能力
- ⇒ センターの高い機能性を活かし、大手e-コマース向け 3 P L 業務を行う

2023年4月 OPEN  
(5,700坪)  
大阪府茨木市



## ▶ 鳴尾浜 L C

⇒ 大手e-コマース向け 3 P L 業務を行い、関西圏での3PL事業を拡大

2023年4月 OPEN  
(5,500坪)  
兵庫県西宮市



## ▶ 流山 L C ・ 流山Ⅱ L C

- ⇒ 東日本最大の延床面積かつ国内最大の1フロア延床面積を有する
- ⇒ 広大な延床面積を活かし、大手e-コマース向けに複数の 3 P L 業務を行う

2023年4月 OPEN  
(14,800坪)  
千葉県流山市



ヒガシ21の当社および本認証の対象となる11営業所で二つ星認証を取得

「働きやすい職場認証制度(正式名称:運転者職場環境良好度認証制度)」

→自動車運送事業におけるドライバー不足の解消に向けて国土交通省・厚生労働省が推進する取組みで、トラック運転者の労働条件・労働環境を認証団体が公正に評価し、優良な職場環境の運送事業所として認証を受けることができる制度

◆ 二つ星認証の審査要件

認証項目	主な判定内容	
1.法令遵守	労働基準法、36協定等の違反有無 等	} ※一つ星取得の要件
2.労働時間・休日	長時間労働の管理、休日取得への取組み状況 等	
3.心身の健康	健康診断の実施、ハラスメント相談窓口の設置状況 等	
4.安心・安定	定年延長制度の有無、時間外手当の支払い状況 等	
5.多様な人材の確保・育成	資格取得支援制度の有無、女性運転手の働きやすさ 等	
<b>6.自主性・先進性</b>	上記1~5における自主的・先進的な取組みの実施 等	※二つ星取得の追加要件



◆ 取得営業所一覧

株式会社ヒガシトゥエンティワン

本社、茨木総合物流グループ、関電物流グループ、関電連絡便センター、大阪中央輸送センター、日生物流センター、阪神総合物流グループ、堺総合物流グループ、東京総合物流グループ、西脇物流グループ、名古屋総合物流グループ、京滋総合物流グループ



2023年度より「こころの劇場」大阪府公演への協賛を開始  
今年度の大阪府公演は、16公演・約3,400名の児童を招待予定

「こころの劇場」(主催:一般財団法人舞台芸術センター／劇団四季、後援:文化庁)  
→全国の小学生を学校単位で劇団四季ファミリーミュージカル公演へ無料招待するプロジェクト



## (注意事項)

- 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている内容は、ヒガシ21グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見込みです。また、経済動向、市場需要、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を含んでおります。このため、将来の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。
- 今後、新たな情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本資料に含まれる業績に関する予想及び見通しの記述の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

## ■コーポレートサイトURL

<https://www.e-higashi.co.jp/>

その他、各種情報を配信しておりますのでぜひご登録ください

